

9月20日～26日は「動物愛護週間」

問 環境課 (西館1階) 【担当】 久本・岩本 ☎37・6102

命ある動物を愛する気持ちと正しい飼い方についての理解と関心を深めましょう。

犬の登録

犬は、小型犬、大型犬、室内犬、屋外犬に関係なく生涯1回の登録と、毎年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。登録や狂犬病予防注射がお済みでない方は早めに済ませましょう。

また、登録と注射を済ませた後は鑑札、注射済票を首輪に付けましょう。

犬の飼い方

犬の飼い方が原因となって、トラブルが発生しています。犬を放し飼い、または制御しきれない距離で繋いでいる状態はその犬の事故や他の人や犬への咬傷などに繋がります。

犬による思わぬトラブルが起こらないように気を付けましょう。



・外で犬を飼う場合は、繋いでおくか、鍵付の檻などに入れて、犬が敷地の外に出たり外部の人に安易に近づいたりしないようにしましょう。

・首輪の状態に気を付けましょう。緩んだり壊れたりしていないか定期的に確認しましょう。

・散歩をさせるときは必ずリードをつけ、飼い主から離れないように短く持ちましょう。

※散歩のときは袋を持参するなどして糞を必ず持ち帰りましょう。糞の片づけは飼い主の義務です。

犬・猫の遺棄について

動物の遺棄、虐待は動物愛護法により100万円の罰金が科せられます。飼い主の方は最後まできちんと飼育しましょう。

野良猫の餌やり

最近、猫によるトラブルが増えています。猫は生後半年から繁殖が可能になり、また年に何度も出産できるため爆発的にその数が増えています。

また、かわいそうだからと野良猫に餌をあげてしまうと他の猫も集まり、より増えやすい環境を作ってしまういます。猫が増えすぎると糞尿や鳴き声、交通事故などトラブルの原因になることがあります。それでは人と動物双方にとって快適な環境とは言えません。

安易な「かわいそう」という気持ちをもっと多くの「かわいそうな動物」を生み出してしまいます。



人と動物にとって快適な生活環境を保つためにも野良猫や他人の猫には餌やりをしない、また、自分が飼育している犬・猫には無秩序な繁殖を防ぐために避妊去勢手術を受けることを推奨しています。

避妊去勢手術補助額

(当該年度2頭まで/1世帯)

※手術前の申請が必要です!

対象	性別	補助額
犬	雄	3,000円
	雌	5,000円
猫	雄	2,000円
	雌	3,500円

詳細は環境課までお問い合わせください。

